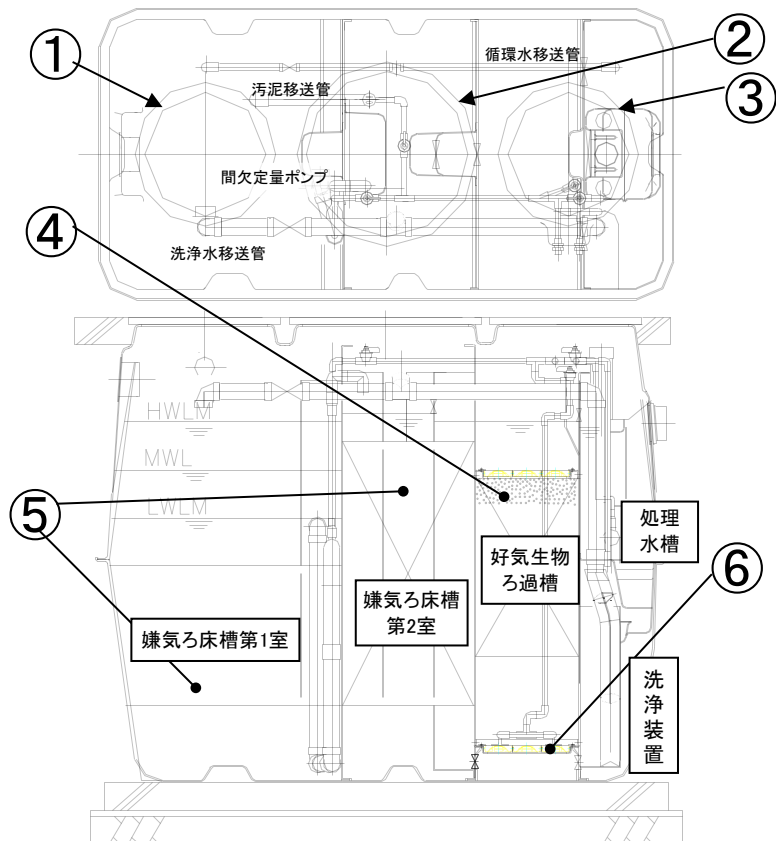
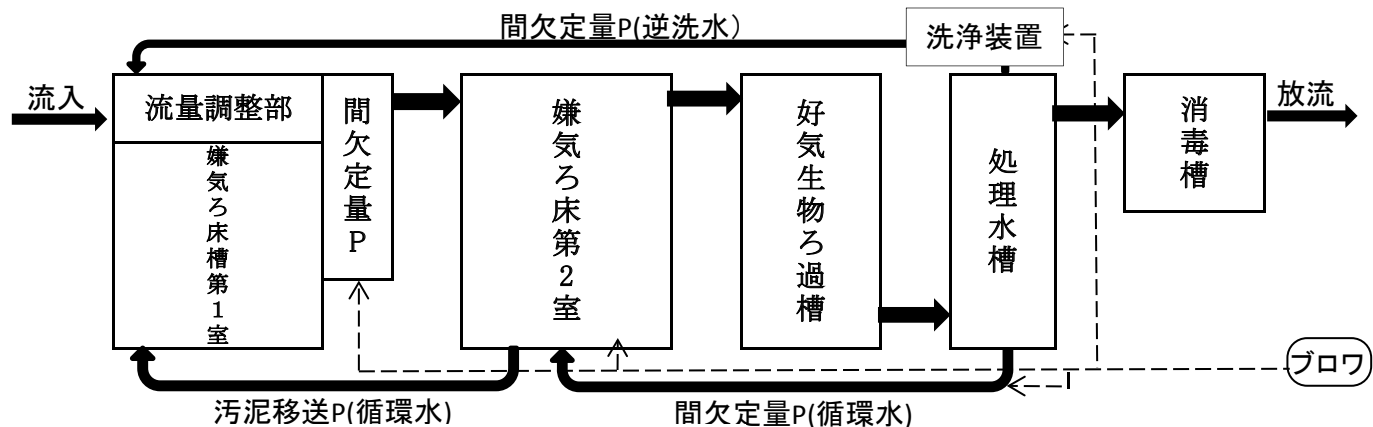


BMZ (株)アールエコ OEM: なし 共同開発: なし 処理方式: 流量調整嫌気ろ床生物ろ過方式 5・7・10人槽	窒素除去型		全浄協登録値			
			BOD	SS	T-N	
			20mg/L以下	—	20mg/L以下	
			性能評定または性能評価値			
			BOD	SS	T-N	
			20mg/L以下	15mg/L以下	20mg/L以下	



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③好気生物ろ過槽
- ④好気生物ろ過槽ろ材
- ⑤嫌気ろ床槽第1室, 第2室ろ材
- ⑥散気管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	嫌気ろ床槽 第1室(L. W. L)	0.714	1.048	1.538
		〈流量調整部〉		
	嫌気ろ床槽 第2室	0.209	0.306	0.422
	好気生物ろ過槽	0.579	0.948	1.545
	処理水槽	0.430	0.607	0.865
	消毒槽	0.130	0.179	0.200
合計		2.077	3.103	4.592

槽底部からろ材受け面までの距離 (mm)	第1室	300
	第2室	

流量調整装置	流量調整移送バルブ目盛(%)	循環装置	循環装置バルブ目盛(%)			汚泥移送バルブ	散気バルブ
			5人	7人	10人		
有	90	有	70	80	85	全閉	全開

人槽	ブロワ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	エアリフト用 (ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
5・7	40	40	-	20	15:00	1	1日
10	60	60	-				

[実使用人員に対する流調・循環水量の設定範囲]

実使用人員	5人	7人	10人
流量調整(M.W.L) 移送水量(ℓ/分)	3.9~4.7	5.4~6.6	7.7~9.5
循環(M.W.L) 移送水量(ℓ/分)	1.9~2.3	2.6~3.2	3.8~4.6

・流量調整移送水量・循環移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量) (2)実使用人員、(3)人槽 の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

特 徴

嫌気ろ床槽 第1室、第2室ともに発泡ポリウレタンを円筒状に成形したろ材が充填されており流量調整ポンプにより汚水は第2室に定量移送される。第1室の上部は流量調整部となっており水位が変動する。第2室は、上向流で移流口はバッフル内の槽底部付近に設置されている。なお、第2室には過剰蓄積した汚泥を第1室に移送するエアリフトポンプが設置されている。

好気生物ろ過槽 ろ材押さえとろ材受けの間に、φ3~4mmの球状ろ材が充填されている。ろ材は比重が小さい為、上部ろ材押さえ付近に位置している。汚水は上向きに流れ、全面ばっ気によって空気が供給されBOD除去が進行する。ろ材は閉塞を防止するため、タイマー制御にて自動洗浄される。

洗浄装置(自動洗浄) 洗浄用配管より洗浄装置内に送気され、槽上部に位置していたろ材が下側に引き込まれ、槽内水と混合して洗浄される。ろ材から剥離した汚泥は、洗浄装置に移流し、洗浄汚泥移送管を介して嫌気ろ床槽第1室に移送される。

循環装置 処理水槽に設置された間欠定量ポンプにより槽内水を嫌気ろ床槽第1室に循環される。

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

- ①流量調整ポンプの移送水量を実測して作動状況を確認してください。(上表参照)必要であれば配管途中のオリフィスの掃除とポンプ内部の洗浄を行ってください。
- ②好気生物ろ過槽:気泡が全面に均一に上がっているか確認してください。
- ③自動洗浄の動作確認を手動に切り替えて行います。併せてタイマーの設定時間を確認してください。
- ④循環用間欠定量ポンプ:循環水量を実測して確認、調整してください。(上表参照)
- ⑤嫌気ろ床槽第2室に汚泥の過剰蓄積が認められた場合は、汚泥移送ポンプを稼働させて1室へ移送してください。

清掃

- ①嫌気ろ床槽第1室、2室ともに汚泥・スカム等は、全量引き抜いてください。その他の単位装置は必要に応じて実施してください。